

THE YOMIURI SHIMBUN

読賣新聞

2008年(平成20年)

8月3日 日曜日

る化合物を、青山学院大の阿部二郎准教授らが開発した。色が消える時間は市販の調光サングラスの1000分の1以下で、トンネルに入るとすぐ無色になるサングラスなどに応用できると期待される。

阿部准教授は、紫外線が当たると、二つの部分に分かれ、着色する化合物に着目。二つの部分が完全にバラバラにならないように工夫すると、二つの部分が再結合して無色に戻る時間が、通常の数分から0.18秒に大幅に短くなった。着色の反応時間は1兆分の1秒以下で、紫外線を当てた時だけ、着色して見える。液体のほか、プラスチックや繊維に混ぜて利用できる。

◆紫外線当てた時だけ変色する化合物開発 紫外線を当てた時だけ黄緑色に変わり、遮ると瞬時に消色す

「サイエンス・学び」面へのご意見は科学部へ。ファクス(03・3217・8169)か、電子メール(t-kagakubu@yomiuri.com)でお寄せ下さい。